選択

2020.8月号●目次

連載

10 世界のキーパーソン
11 国内人事情報
27 Book Reviewing Globe
40 広告を裏読みする
42 大往生考
51 西風
59 交差点―読者の声・編集者の声

社会・文化

感染による死者数は少なくても、ステイホームや在宅勤務による健康への悪影響は今後急拡大する。運動不足や検査・治療の見送りで、生活習慣病やがんでの死亡が増加。新たな日常に新たな危険が潜む。(110頁)

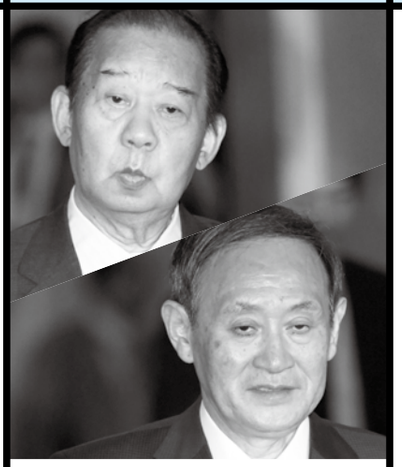
98 社会・文化●情報カプセル
100 **コロナ第二波は「人災」**
■感染拡大に無為無策の政府
104 **新宿「歌舞伎町」夜の裏事情**
■コロナにみまれる「欲望とカネ」
106 **また発生「M資金詐欺」の研究**――なぜコロッと騙されるのか
108 **先細る「日本遺族会」の現状**――かつての「聖域」が探る延命策
日本のサンクチュアリ●シリーズ551
110 **コロナ「関連死」**――「感染以外」の死者数が増加中

経　済

60 トヨタの危うい「中国傾斜」――絡め取る習近平政権の「思惑」
62 電通「霞が関ビジネス」の退潮――経産省ピンハネ事業「忖札断念」の真相
64 **東芝・車谷「社長続投」で悪あがき**
■物言う株主」との熾烈な暗闘
67 連載〈クローズ・アップ〉
岩本絹子〈東京女子医科大学理事長〉――「看護師反乱」経営危機が再燃
68 **三菱UFJ「平野帝国」が完成目前**
■メガ銀「首位陥落」の醜い舞台裏
70 大和証券のタブー「アコーディア」問題――ゴルフ場会社で倫理なき「荒稼ぎ」
72 東大発「ベンチャー企業」の光と影――学生起業家のイマドキ「金儲け術」
74 経済●情報カプセル
78 連載〈地方金融の研究〉山口銀行――若社長抜擢で「院政」の悪夢再来
80 米「テスラ株」狂騰に漂う死臭――時価総額「トヨタ超え」が破裂する時
82 **経産省「石炭火力休廃止」の真意**
■狙うは「原発推進」と電力再編
84 連載〈企業研究〉**東宝**
■映画・演劇「コロナ赤字」の痛苦

空前の好決算から地獄に転落。新作映画は公開延期、演劇は収入「蒸発」で、先の展望も開けない。優良不動産の収益で食いつなげるが、成長期待は霧消した。興行界の雄の失速で、文化衰退が危ぶまれる。(84頁)

政　治


今や政局の焦点は「解散の時期」から、実権を握った「二階＝菅ライン」の動向に移った。夏以降の予定の人事でも2人は「留任」の可能性が高い。岸田も石破も嫌う二階は、菅の一発逆転へ布石を打つ。(48頁)

44 政治●情報カプセル
46 **安倍応援団「四季の会」の終焉**
■政権と共に消えゆく「偽保守」政商
48 **二階の意中は「菅義偉」**
■「ポスト安倍」政局の潮目一変
52 連載〈政界スキャン〉開成悲願「卒業生総理」の夢は散る
54 **菅義偉「政権獲り」に野心露わ**
■霞が関支配とコロナ禍を追い風に
56 選挙マシーン「創価学会」の黄昏――コロナが砕いた組織の結束
58 連載〈罪深きはこの官僚〉西田憲史〈文部科学省高等教育局大学振興課長〉――大学入試改革「総崩れ」の責任者

WORLD

6 ●特別リポート
「米中争覇」苦渋の日本
――米国が軍事・経済で求める「重責」
12 **米「疾病予防管理センター」の実像**
■「世界最強」が看板倒れの機能不全
14 トランプは落選しても居座る!?――大統領選「無効」で泥沼法廷闘争に
16 **欧州観光業「絶望」の夏**
■「旅行＝感染拡大」の辛い連鎖
18 WORLD●情報カプセル
22 イスラエル「サイバー戦力」の脅威――イラン重要施設「連続爆破」の深層
24 陸の一帯一路で「コロナの猛威」――中央アジアから中韓へ感染「逆輸入」
28 **北方領土「媚ロシア外交」が致命傷に**
■官邸官僚「今井・長谷川」の重罪
30 ペルシャ湾「中国軍駐留」の衝撃――イランと中国が「準同盟関係」へ
32 **米国と台湾「準軍事同盟」はなるか**
■米中対立で蔡英文に好機到来
34 中国駐在邦人が「習近平礼賛」の奇怪――対日「心理戦」の巧妙な罠
36 中国が目指す海南島「香港化」――業績なき習近平がまた「大風呂敷」
38 連載〈現代史の言霊〉八月の侵攻――イラクのクウェート占領(一九九〇年)

陸上イージスに代わって、米国が日本に求めるのは対中国「ミサイル前線基地」の役割だ。経済や人権を巡る米中衝突でも、今後「中立」は許されない。英国や豪州のような、真の同盟国となる覚悟はあるか。(6頁)

3 連載〈巻頭インタビュー〉中村喜四郎――強い野党をどう再興するか

●写真提供／時事通信フォト　共同通信イメージス　朝日新聞社　読売新聞社　毎日新聞社　産経新聞社　など